

其の時は先々の村々よりも出会い、召し揃（から）め候者御褒美下さるべく候由、其の意を得、畏み奉り候、若し郷中にて出合わざるものハ曲事に仰せ付けらるべく候、尤も郷中へ不審成るもの参り候歟、悪党のもの堂社・山林にかが（屈）まり居り候を見出し候はば、名主並び郷中のもの相談の上、からめ取り候て御注進申し上げるべく候、然（しか）る上は品により江戸へ召し連れ候刻、旅路にて入用御奉行所へ罷り出候迄諸事入用、百姓

迷惑致さず候様に、

御公儀様より下さるべきの由、其の意を得奉り候、自然とらえ申す儀相成らず候はば、何方（いずかた）迄も相したい、落ち着く所へこれ断り、揃め候様に仕るべく候、見逃し聞き遁（のが）し欠落（かけおち）致させ候はば、後日に御聞き出し候共、急度御咎（とが）め遊ばさるべき旨、是亦

畏み奉り候、並びに百姓は申すに及ばず、出家・山伏・行人・虚無僧（こむそう）・鉦（かね）たゞき・穢多（えた）・乞食・非人等、盗人の宿を仕り、又は

同類もこれ有るべく間、常々詮儀致し、怪敷（あやしき）儀もこれ有り候はば、申し上げるべく候事

○一在々所々名主・百姓の所へ盗人入り候はば、雑物（そうもつ）委細に書き付け、早速注進申し上げるべく候、縦雑物盗み取られず候とも其の品申し上げ、御帳に付け申すべく候、勿論心元無きものこれ有り候はば、親類・縁者・好身（よしみ）のものに候共、遠慮無く申し上げるべく候事

○一盗人の届又は盗まれ候雑物見出し、其の届これ有り候はば、名主・五人組立ち会い詮儀（せんぎ）仕り申し上げるべく候、縦何様の軽きもの申し来たり候共、粗略に仕る間敷候、若し油断

いたし、其の盗人欠落致させ候歟、断りの雑物紛失致し候はば、其の者は申すに及ばず、名主・五人組曲事仰せ付けらるべく候事

○一男女によらず欠落もの郷中へ参り候はば押さえ置き、早速

申し上げるべく候、猶以て先々より構いこれ有る由届これ有る者は、早速寄り合い吟味いたし申し上げ、御下知（げち）を得申すべく候、惣じてあやしきものは申すに及ばず、壱人者に一夜の宿も貸し申す間敷候、親類・縁者・好身のもの、他所より